Wood Stove

設置・取扱説明書

アド コーヴェ
AD COVE SERIES

AD Cove 2 blu	HI-BCOV2MK2SS-MB
C-Seven blu	HI-BCSEVENSS-MB
Skye 7	HI-SKYE07SS-MB
Arc 7	HI-ARC07SS-MB

アイランド
ISLAND SERIES

All New Island Ⅰ	HI-ISL01HLAP-MB
All New Island Ⅱ	HI-ISL02HLBP-MB
ISLAND Ⅲ blu	HI-BISL03HL-MB

目　次

1.安全上の御注意 …… 2
2.部品の確認と脚の取付方法 …… 4
3.本体の基礎知識 …… 9
4.本体及び煙突の設置について …… 13
5.製品寸法･分解図 …… 14
　アイランドシリーズ …… 14
　コーヴェシリーズ …… 19
6.エコール･薪について …… 26
7.薪の着火と燃焼 …… 28
8.エアーコントロールと温度計について …… 32
9.ドラフト管理 …… 33
10.メンテナンス【スケジュール】 …… 35
11.メンテナンス【本体の掃除とお手入れ】 …… 36
12.メンテナンス【煙突の掃除とお手入れ】 …… 39
13.トラブルシューティング …… 41
14.保証とアフターサービス …… 44

東証一部上場
ADVAN

1　安全上の御注意

お客様や他人への危害や財産への損害を未然に防ぐために、安全上のご注意を必ずお読みになり、正しくご使用ください。この章に記載されている注意事項は、安全に関する重要な内容です。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告表示について

⚠ **警告**　人が死亡または重傷、財産への損害を与える恐れがあります。

⚠ **注意**　人が怪我または製品に損害を与える恐れがあります。

⚠ 警告

- しっかりと乾燥させた薪のみを使用してください。乾燥していない薪は暖まりにくく、燃やすとクレオソートや煤が多く発生し、煙道火災の原因にもなりかねません。

- 塩水や海水に浸かった流木や、ペンキ、薬品、接着剤など化学処理された木材、ガソリン、オイル、灯油、プラスチック、ビニール、紙類、生ゴミは絶対に燃やさないでください。有機物質の発生、及び、本体や煙突の変形、破損、そして火災の原因となります。

- ストーブ本体の上や周辺、及び煙突の周囲には、引火性のあるガソリン、灯油、揮発性のある液体や、スプレー缶などの高圧容器等を置かないでください。
火災や有害物質の発生の原因となります。

- 技術修理者以外の方は、本体や煙突の分解・修理を行わないでください。故障と思われる時は販売店にご相談ください。

- 事故防止の為に、ご就寝やお出かけの際には、全てのドアが完全に閉まっているか確認してください。また、周囲に燃えやすいものが無いことをご確認ください。

- 薪の入れ過ぎに注意してください。燃焼され過ぎた状態が続くと、本体や煙突が破損する恐れがあります。破損をしなくても劣化が早まりますので、燃焼空気の調整をして、天板の口元付近の温度を250℃前後で保ってください。

- 本体及び煙突の設置は、建築基準法及び消防法、お住まいの地域の火災予防条例に従ってください。

- 灰の処理は、火の気が完全に鎮火したことをご確認の上、不燃性の灰入れバケツに入れフタをし、不燃の床、そして可燃物の無い場所に保管してください。72時間以上経過してから、冷えていることを確かめて処理してください。可燃性のある物の上や場所に保管しますと、熱が伝わり火災の原因となります。

- 万が一煙突火災が発生した場合には、速やかに各ドア及び空気調整レバーを閉じて屋外へ避難し、消防署に連絡してください。後に必ず専門業者に点検を依頼してください。

- 灰受けドアを開けたまま使用しないでください。空気が調節できずに過燃焼となり、本体の破損や火災の原因となります。

● 大きな地震や落雷があった場合、破損や変形を生じている可能性があります。ご使用前に本体や煙突の点検を必ず行ってください。異常が見つかった場合は、ご使用にならずお買い求めの店までご相談ください。

⚠ 注意

● ストーブの使用方法については、付属の取扱説明書をお読みください。

● ご使用中は本体や煙突が非常に高温になりますので、火傷には十分御注意ください。

● ドアの開閉や薪の投入など、燃焼中に本体の操作を行う場合は、専用の皮製ストーブ用グローブをご使用ください。

● ストーブを焚き始める前には、必ず慣らし炊きを行ってください。初めから高温で使用してしまうと、破損の原因となります。

● 焚きはじめの数回は、お部屋を換気しながら行ってください。本体と煙突に塗られている塗料が熱せられ、煙とともに臭いが発生します。

● 非常時に備え、消火器や煙感知器を設置することをおすすめします。

● ご使用中、万が一火傷を負った場合は、応急処置として、すぐに患部を流水にて15分以上冷やしてください。
なおその際、強い水圧は当てないでください。

● ご使用中に各ドアを開けたまま本体のそばから離れないでください。火の粉が飛ぶ恐れや、薪が転がり落ちてくる危険性がありますので、必ず扉が閉まっていることを確認してください。

● 灰の処理は、ストーブ本体が冷えている状態で行ってください。火傷の原因となります。

● 定期的に本体や煙突のメンテナンスを行ってください。使用しているうちにススが溜まり、それが多くなると、引火して煙道火災などの事故が起こる可能性があります。少なくとも1年に1回はメンテナンスを行ってください。

● お子様をストーブに近づけないでください。火傷や怪我の危険があります。あらかじめ、薪ストーブ用ゲージを設けることをおすすめします。

● 本体、煙突に強い衝撃や過度に力を与えないでください。

2　部品の確認と脚の取付方法

ISLAND SERIES（アイランド シリーズ）

部品の確認

炉内の部品を全て取り出し、下記の部品が入っているかを確認してください。

- □ ストーブ本体
- □ 脚（納品時取り付けられています）…… 4
- □ 口元 …… 1
- □ バッフルプレート …… 1
- □ 灰受トレー …… 1
- □ ナット（口元接続用）…… 2
- □ 火床　・オール ニュー アイランド Ⅰ … 10
  - ・オール ニュー アイランド Ⅱ … 12
  - ・アイランド Ⅲ・ブルー …… 16
- □ ハンドル…… 1
- □ 転び止め …… （2コ/セット）
- □ サイドプレート …… 2
- □ バックプレート …… 1
- □ ガスケットロープ（口元用）（100㎝×幅12㎜）……1

注意　不足部品や欠陥部品があった場合は、すぐにアドヴァンに連絡してください。必要な部品が無いまま、あるいは欠陥部品を使用してストーブを組み立てることは、決して行わないでください。

温度計

天板の口元付近が200～250℃を目安に焚いてください。
300℃以上を継続して使用すると、ストーブ本体の破損の原因となります。

脚の取り付け方法

1 傾ける。

2 増し締め。

AD COVE SERIES
アド コーヴェ シリーズ

部品の確認

炉内の部品を全て取り出し、下記の部品が入っているかを確認してください。

- □ ストーブ本体
- □ 脚（ストアースタンド）・…… 1
- □ 口元 …… 1
- □ バッフルプレート …… 1
- □ 灰受トレー …… 1
- □ ナット（口元接続用）…… 2
- □ 火床 ・コーヴェ Ⅱ ブルー …… 12
- □ ハンドル…… 1
- □ 転び止め …… （2コ/セット）
- □ サイドプレート …… 2
- □ バックプレート …… 1
- □ ガスケットロープ（口元用）
  （100㎝×幅12㎜）……1

注意

不足部品や欠陥部品があった場合は、すぐにアドヴァンに連絡してください。必要な部品が無いまま、あるいは欠陥部品を使用してストーブを組み立てることは、決して行わないでください。

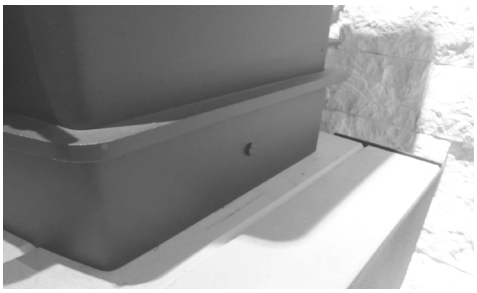
温度計

天板の口元付近が200～250℃を目安に焚いてください。
300℃以上を継続して使用すると、ストーブ本体の破損の原因となります。

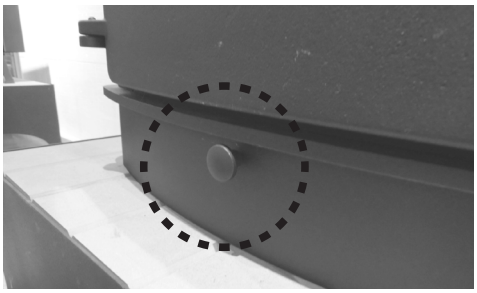
ストアースタンドの取付方

1 梱包を開けた状態。

2 ボルトを取り外す。（両サイド）



3 つまみを回転させて取り外す。
幅木を手前に引き外す。



4 ストアースタンドを用意。

5 4の脚の上へ乗せて、完成。
重量物の為、指や手を、はさまないように
御注意ください。

脚を所定の位置にあてがい、ボルトを締め付けてください。あまり強く締めてしまいますと、ネジ山を壊す原因になりますので、十分にお気を付けください。

※脚を使わずに使用する場合は、ボルトを必ず増し締めください。

注意

ストーブ本体とストアースタンドを接続する際、床を傷つけないよう、毛布などの柔らかい物の上で取付作業を行ってください。大変重いストーブですので、十分に気を付けて行ってください。

C-Seven blu（シーセブン ブルー）

部品の確認

炉内の部品を全て取り出し、下記の部品が入っているかを確認してください。

- □ ストーブ本体
- □ 脚（ストアースタンド） …… 4
- □ 口元 …… 1
- □ バッフルプレート …… 1
- □ 灰受トレー …… 1
- □ ナット（口元接続用） …… 2
- □ 火床 …… 4
- □ ハンドル …… 1
- □ 転び止め …… （2コ/セット）
- □ サイドプレート …… 2
- □ バックプレート …… 1
- □ ガスケットロープ（口元用）（100㎝×幅12㎜） …… 1

注意

不足部品や欠陥部品があった場合は、すぐにアドヴァンに連絡してください。必要な部品が無いまま、あるいは欠陥部品を使用してストーブを組み立てることは、決して行わないでください。

温度計

天板の口元付近が200～250℃を目安に焚いてください。
300℃以上を継続して使用すると、ストーブ本体の破損の原因となります。

脚の取り付け方法

1 傾ける。

2 増し締め。

Skye 7（スカイ セブン）

部品の確認

炉内の部品を全て取り出し、下記の部品が入っているかを確認してください。

- □ ストーブ本体
- □ 脚（本体一体型ストアースタンド） …… 4
- □ 口元 …… 1
- □ バッフルプレート …… 1
- □ 灰受トレー …… 1
- □ ナット（口元接続用） …… 2
- □ 火床 …… 10
- □ ハンドル …… 1
- □ 転び止め …… （2コ/セット）
- □ サイドプレート …… 2
- □ バックプレート …… 1
- □ ガスケットロープ（口元用）（100cm×幅12mm） …… 1

注意 不足部品や欠陥部品があった場合は、すぐにアドヴァンに連絡してください。必要な部品が無いまま、あるいは欠陥部品を使用してストーブを組み立てることは、決して行わないでください。

温度計

天板の口元付近が200～250℃を目安に焚いてください。
300℃以上を継続して使用すると、ストーブ本体の破損の原因となります。

Arc 7（アーク セブン）

部品の確認

炉内の部品を全て取り出し、下記の部品が入っているかを確認してください。

- □ ストーブ本体
- □ 脚（本体一体型ストアースタンド） …… 4
- □ 口元 …… 1
- □ バッフルプレート …… 1
- □ 灰受トレー …… 1
- □ ナット（口元接続用） …… 2
- □ 火床 …… 6
- □ ハンドル …… 1
- □ 転び止め …… （2コ/セット）
- □ サイドプレート …… 2
- □ バックプレート …… 1
- □ ガスケットロープ（口元用）（100cm×幅12mm） …… 1

注意 不足部品や欠陥部品があった場合は、すぐにアドヴァンに連絡してください。必要な部品が無いまま、あるいは欠陥部品を使用してストーブを組み立てることは、決して行わないでください。

温度計

天板の口元付近が200～250℃を目安に焚いてください。
300℃以上を継続して使用すると、ストーブ本体の破損の原因となります。

3　本体の基礎知識

構造・特徴

天板：t=10㎜ 鋼鉄製

バッフルプレート：t=5㎜ 鋼鉄製

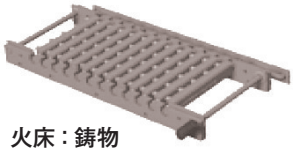
口元：鋳物製

ボディ：t=5㎜ 鋼鉄製
●一枚の鋼板から作られた
継ぎ目のない構造

耐熱ガラス：t=4㎜

耐火ブリック：
t=30㎜ バーミキュライト製

扉部分：鋳物製
●蓄熱性の高い分厚い鋳物構造
●熟練工の調整による高い機密性



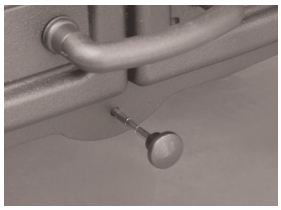
火床：鋳物
●蓄熱性の高い分厚い鋳物構造

ボディ下部：t=10㎜ 鋼鉄製

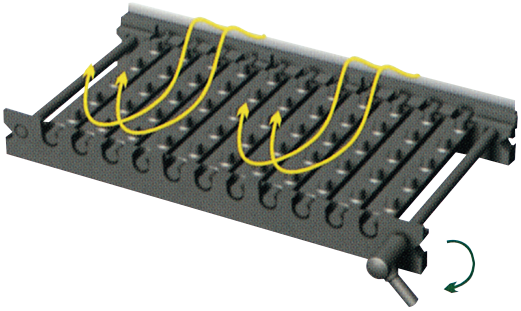
ドアハンドル*：
プラスティック製
●熱くならず素手で
開閉が出来ます

*アイランドシリーズのみ。
コーヴェシリーズには専用の
着脱式ハンドルが付属しています。

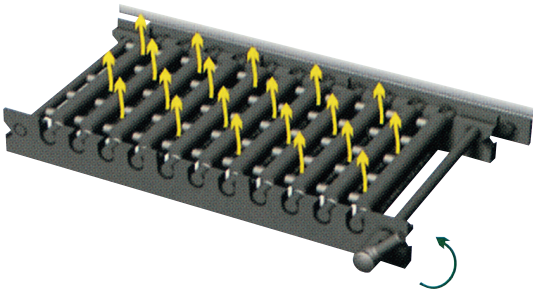
空気調整レバー：
プラスティック製
●熱くならず素手で
開閉が出来ます



多機能火床



クローズド・ポジション（薪用）
通常使用時です。灰がつもり火床を保護し後方からの空気で燃焼させます。



オープン・ポジション（エコール用）
下部からの空気で燃焼させます。灰を掃除する時にも使います。

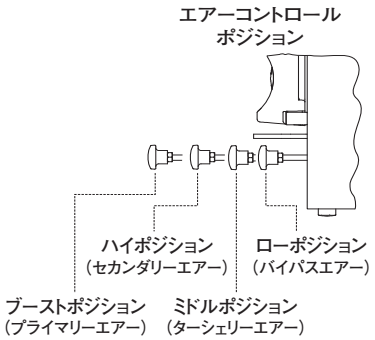
クワトロフロー・エアー　マネージメントシステム

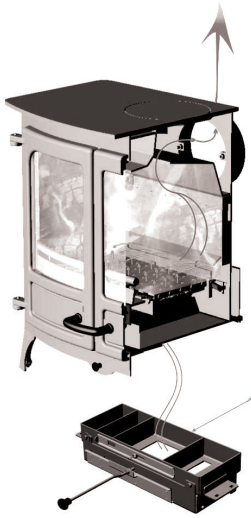
「チャーンウッド」が特許を持つ画期的な空気管理システムは、「アイランドシリーズ」、「コーヴェシリーズ」、「スカイセブン」、「アークセブン」に採用されています。

4段階空気調整「クワトロフロー」

指1本で簡単操作。炎を調節、再燃焼もスピーディー

Quattroflow Air Management System*で、大きく力強い炎から、小さなやさしい炎まで1本のレバー操作で最適に調整できます。





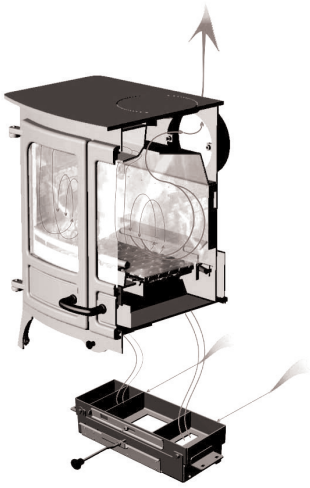
1

ブーストポジション

プライマリーエアー

着火時に使用してください。

プライマリーエアーのまま燃焼し続けると、火力が強すぎてストーブ本体をいためますので、着火後は空気をしぼってご使用ください。

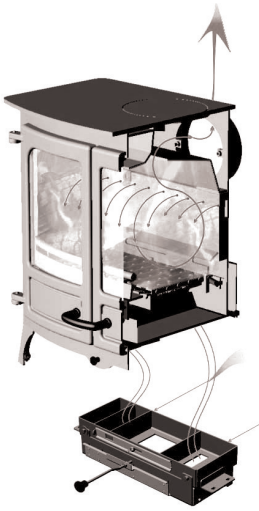


2

ハイポジション

セカンダリーエアー

ガラスのクリーニングと二次燃焼の役目をします。



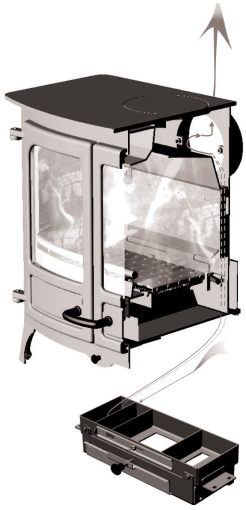
3

ミドルポジション

ターシェリーエアー

燃焼室上部から下方向へ空気を送ります。上昇しようとする煙を再び燃焼させ、効率的なクリーンバーニングを実現します。

通常のポジションです。



4

ローポジション

バイパスエアー

バイパスエアーによるオーバーナイトバーニング。余熱を煙道に送り、結露を防ぎます。

エアーウォッシュシステム

ストーブ後方からの給気が燃焼部の上を通って高温に熱せられ、ドアガラスの上から勢いよく流れます。この強力な熱風のエアーカーテンがドアガラスに煤や汚れがつくのを防いで、きれいな状態を保ちます。炎の状態を確認しやすく、いつもクリアな炎を楽しむことができるのです。

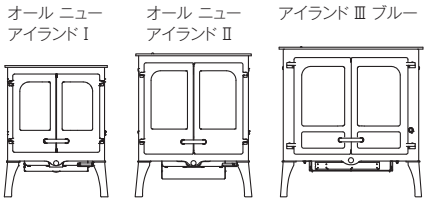
クリーンバーニングシステム

一次燃焼で初期燃焼を促進させ、二次燃焼では燃えた炎をさらに燃焼させます。さらに三次燃焼で上昇しようとする煙を再燃焼させることで、効率的なクリーンバーニングを実現。きれいな排気によって環境への影響も少なくなっています。

各部名称

オール ニュー アイランド Ⅱ

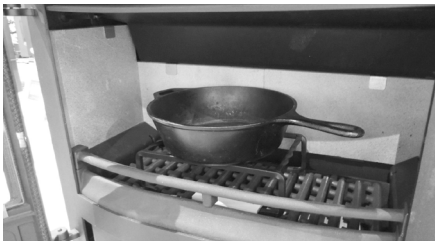
アイランド Ⅲ ブルー



転び止め

薪がガラスに触れてしまうと煤が付きます。転び止めより奥で燃やすことにより、いつも視界をキレイに保ちます。

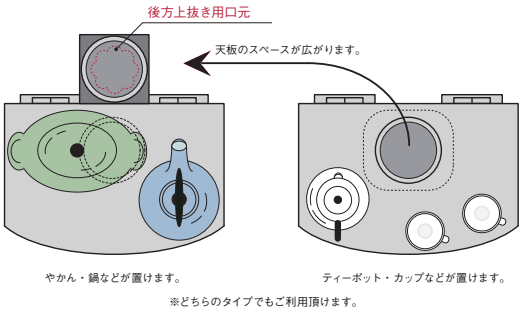
オーブン



別売りのクッキングスタンドをストーブの炉内に置く事で本格的なオーブン料理を楽しめます。

後方上抜き口元

アドヴァン後方上抜き口元を使用すれば、薪ストーブの上でヤカンやお鍋など温められます。

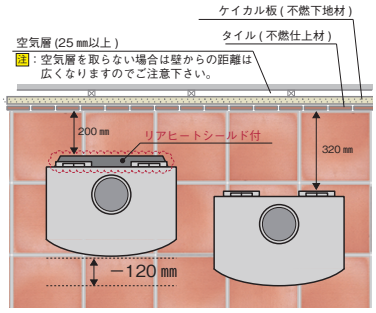


後方抜き口元

天板のスペースが広がるのでヤカンやお鍋を温められて、火力を強くすればお料理もできます。

リアヒートシールド

リアヒートシールドを使用すれば、薪ストーブを壁に寄せて使用することができます。



※リアヒートシールド付

各部名称

スカイ セブン

アーク セブン

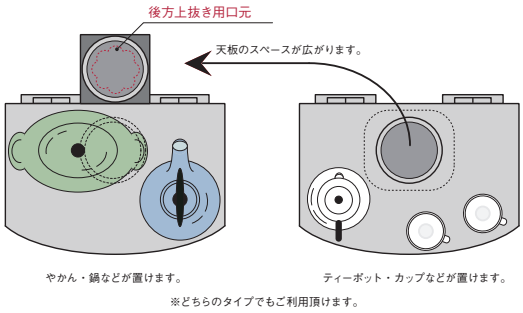
シーセブン ブルー

転び止め

薪がガラスに触れてしまうと煤が付きます。転び止めより奥で燃やすことにより、いつも視界をキレイに保ちます。

後方上抜き口元

アドヴァン後方上抜き口元を使用すれば、薪ストーブの上でヤカンやお鍋など温められます。

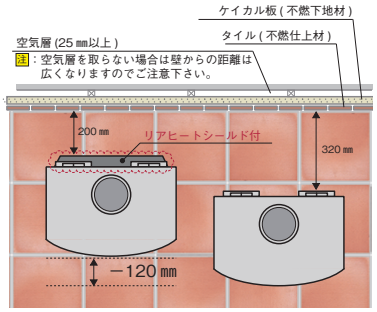


後方抜き口元

天板のスペースが広がるのでヤカンやお鍋を温められて、火力を強くすればお料理もできます。

リアヒートシールド

リアヒートシールドを使用すれば、薪ストーブを壁に寄せて使用することができます。



※リアヒートシールド付

4 本体及び煙突の設置について

煙突設置の基礎知識

レンガ･石造りの煙突

薪ストーブは、自然の上昇気流（ドラフト）だけで燃焼し、煙を排出しています。その為、薪ストーブを正常に燃焼させ、スムーズに排煙を行えるようにするには、正しい煙突の設置が非常に重要となります。新築の住宅に取り付ける場合は、ストーブ設置業者、工務店と相談の上、設計の早い段階で組み込むようにし、無理の無い設置をしましょう。

煙突の設置方法

煙突は真っ直ぐ立ち上げる方法が理想的です。
2階に部屋がある場合や、屋根が瓦などの場合、どうしても、曲げて壁から出す方法を考えがちですが、囲いを作り、角トップチムニーフラッシングでの設計をおすすめします。しかし、やむを得ず壁から出す場合は、出来るだけ横引き部分を短くし、（1m以内）、曲がりの使用をできるだけ少なくすることが必要です。
シングル煙突では、天井や壁は貫通させないでください。必ず二重煙突をご使用ください。

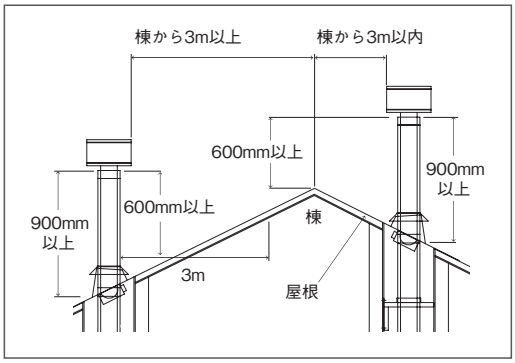
メンテナンス

薪ストーブの性能を持続する為には、煙突の煤やゴミを定期的に取り除く必要があります。使用状況や使用する薪の種類によって様々ですが、最低でも1年に1回は煙突掃除を行うことをおすすめします。

煙突の設置場所と高さ

設置条件等から煙突の設置場所が決まると、次は煙突を何処くらいの高さまで延ばせば良いのかという段階になります。薪ストーブを正常に燃焼させるためには、本体からトップまで4m以上の煙突が必要となります。
横引き煙突がある場合は、横引き1に対してその後の煙突は3～4必要となります。この時は必ず、屋根よりも高い位置に伸ばすようにすることが大事です。
しかし、この高さは屋根の勾配や棟からの位置によって異なるので、その場合は下の図を参考にしてください。
急勾配屋根の場合、この条件を満たすことが困難な場合があります。その場合は、できるだけ棟に近い位置に設置するようにしてください。
しかし、これらの条件を満たしたとしても、設置箇所近くに背の高い木や建築物がある場合は、乱気流が発生し煙の逆流現象が起こる場合もあります。
そのような時は、更に煙突を伸ばす必要があります。

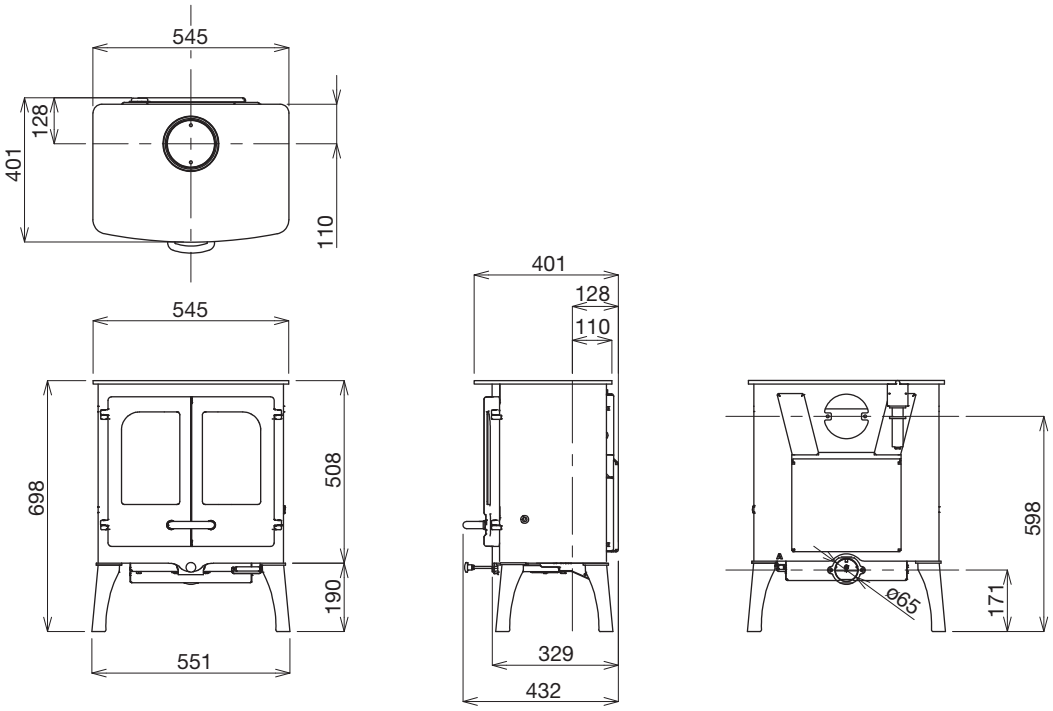
勾配屋根上の煙突の高さ



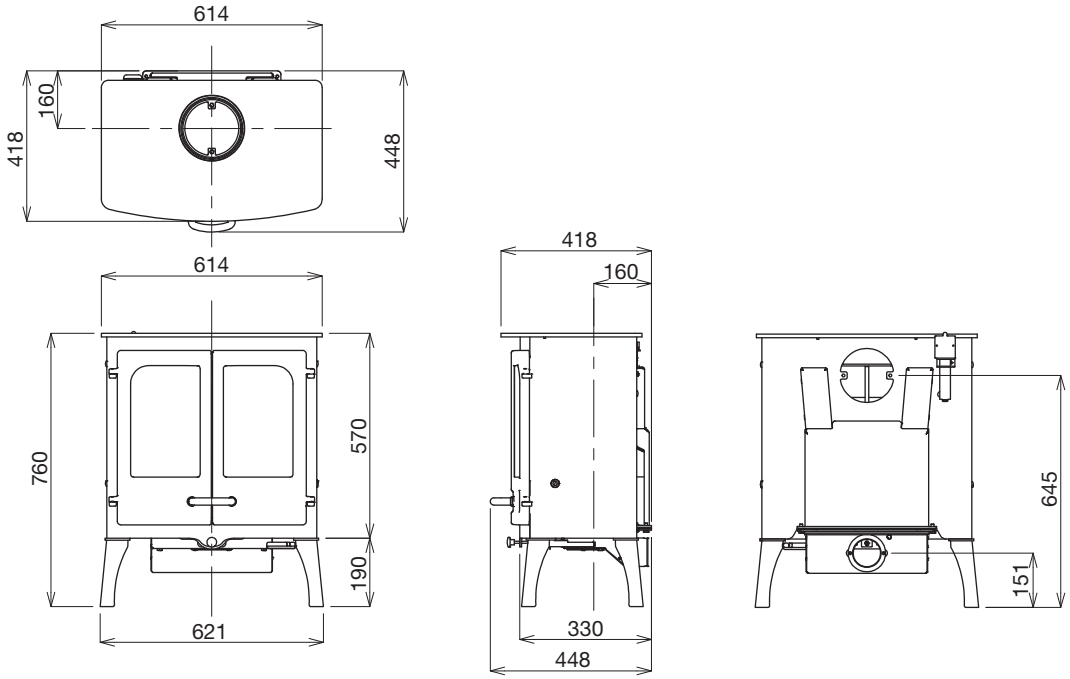
5　製品寸法・分解図

アイランドシリーズ

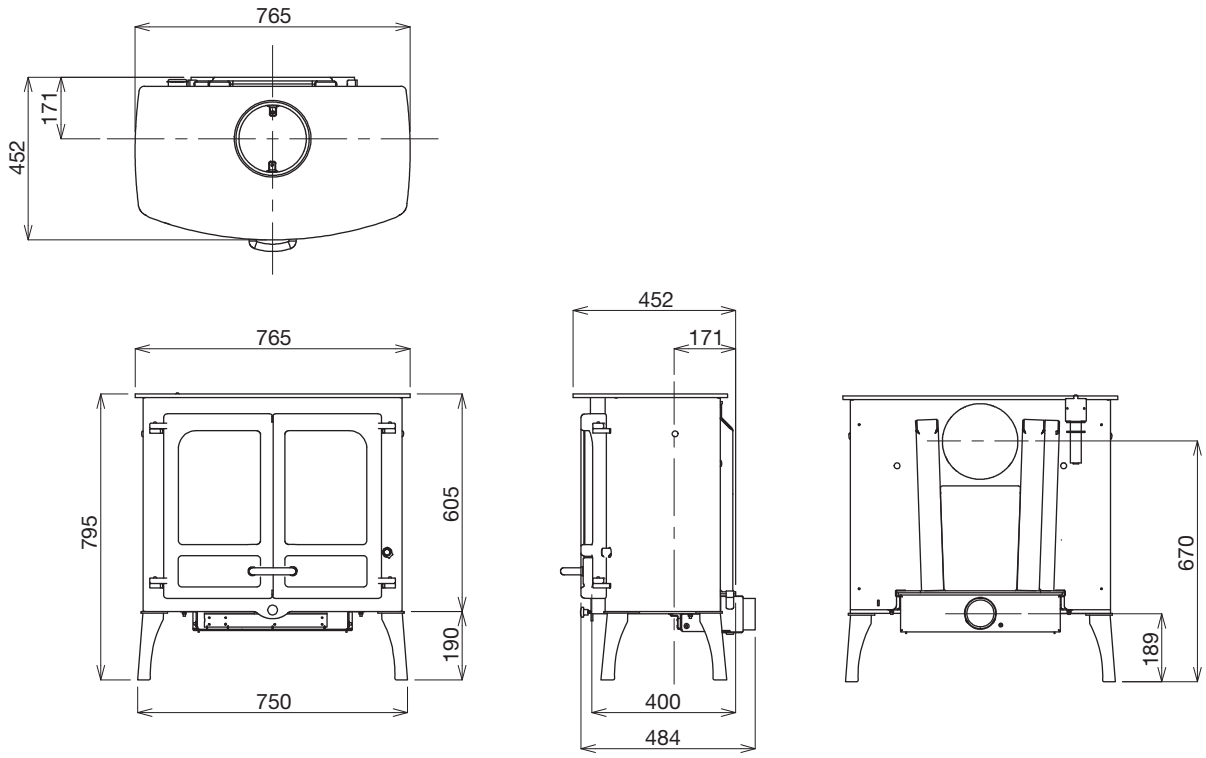
●オール ニュー アイランド Ⅰ（HI-ISL01HLAP-MB）寸法図



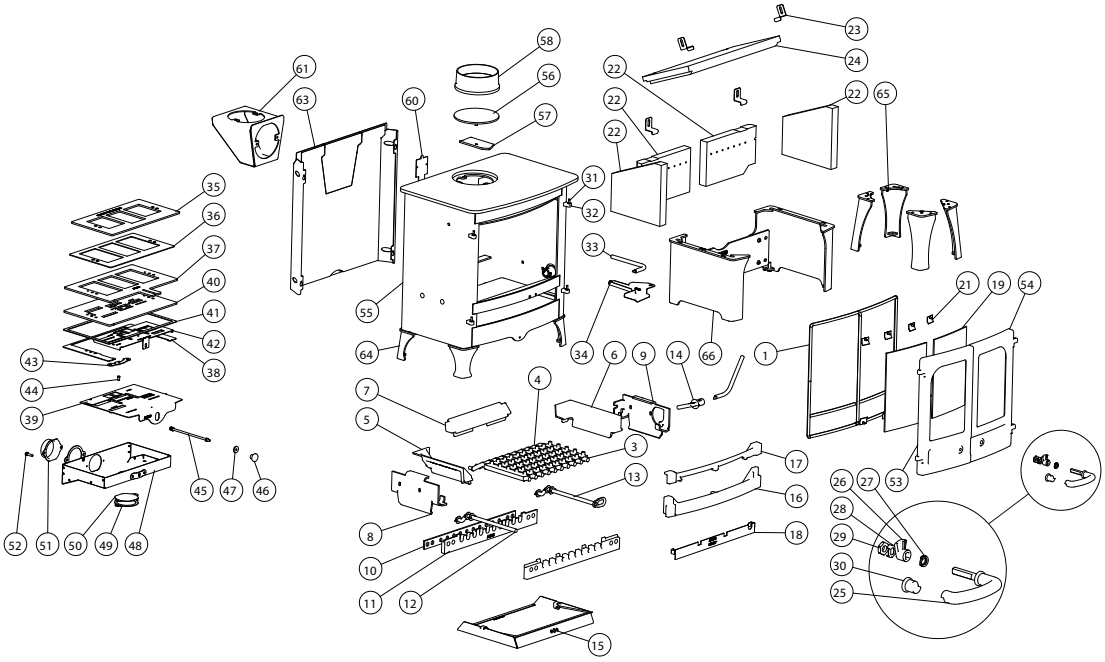
●オール ニュー アイランド Ⅱ（HI-ISL02HLBP-MB）寸法図



●アイランド Ⅲ ブルー（HI-BISL03HL-MB）寸法図

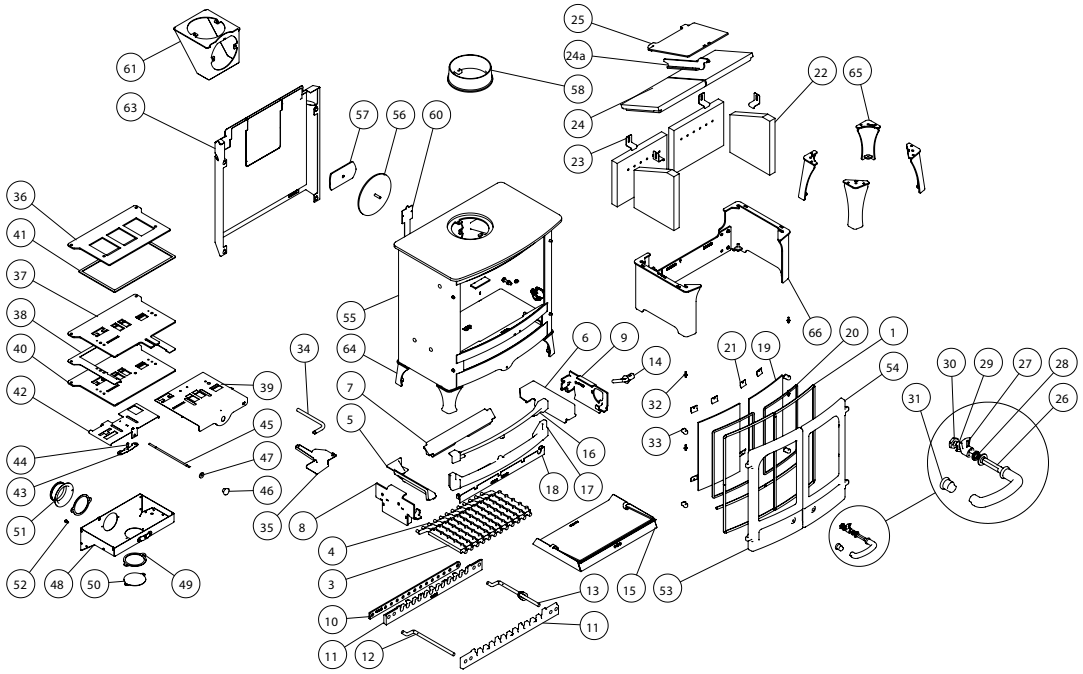


●オール ニュー アイランド I（HI-ISL01HLAP-MB）分解図



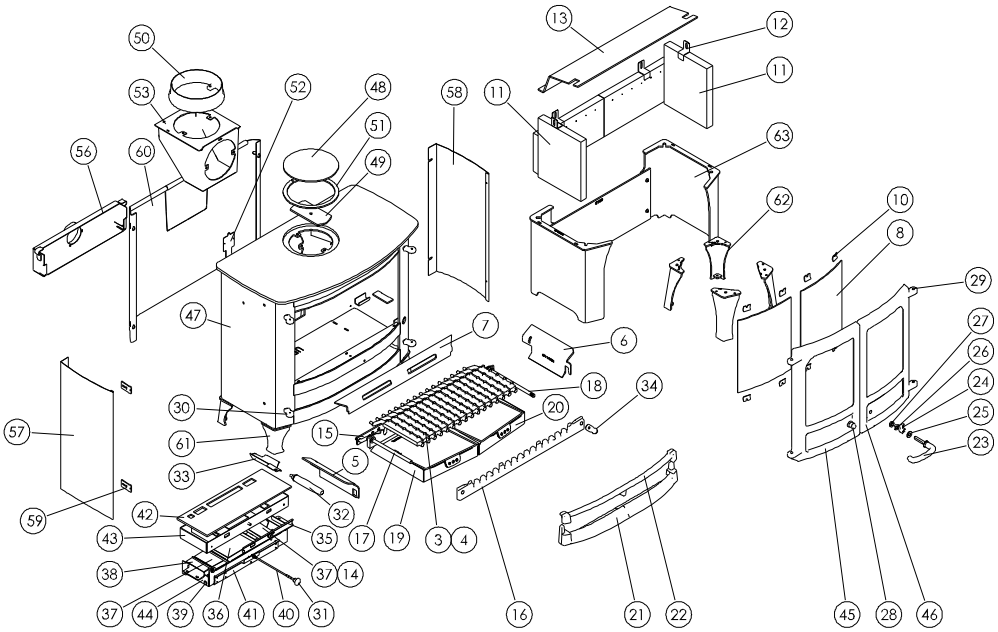
1　ドアシールセット
2　ドアシール
3　火床バー
4　火床バーセット
5　燃焼室横板（左）
6　燃焼室横板（右）
7　燃焼室後部板
8　灰除け板（左）
9　灰除け板（右）
10　可動バー
11　キャリアバー
12　アイドラーロッド
13　リダーロッド
14　リドラースピゴット
15　灰受け皿
16　フロントバー
17　ディープニングバー
18　フロントアッシュシェディングプレート
19　ガラス
20　ガラスシール
21　ガラス止め金具
22　レンガ固定金具
23　止め金具
24　バッフルプレート
25　ドアハンドル（右）
26　ドアキャッチ
27　M12 スプリングワッシャー
28　タブ付ロッキングワッシャー
29　M12 ナット
30　ドアノブ（左）
31　ヒンジピンセット
32　ヒンジポスト
33　取り外しハンドル
34　ホルダー
35　エアボックススペーサー
36　エアコントロールガスケット
37　エアコントロールスライダープレート
38　サラウンドプレート
39　セレクションスライド
40　エアコントロールロアプレート
41　エアボックスガスケット
42　エアコントロールスライダー
43　クリッカーリテーナープレート
44　真鍮ボールキャッチ
45　エアコントロールロッド
46　エアコントロールノブ
47　フェルトワッシャー
48　エアボックスカバー
49　ダクトガスケット
50　ブランキングプレート
51　エアーインレットスピゴット
52　外気導入口止め
53　ドアアセンブリ（左）
54　ドアアセンブリ（左）
55　燃焼ボックス（オールニューアイランドI）
56　ブランキングプレート
57　クランピングプレート
58　煙道カラー
59　煙道スペースリング
60　シリアルナンバーラベル
61　後方排気アダプター
62　灰運搬
63　ヒートシールド
64　短脚セット
65　長脚セット
66　ストアスタンド

●オール ニュー アイランド Ⅱ（HI-ISL02HLBP-MB）分解図



1 ドアシールセット
2 ドアシール
3 火床バー
4 火床バーセット
5 燃焼室横板（左）
6 燃焼室横板（右）
7 燃焼室後部板
8 灰除け板（左）
9 灰除け板（右）
10 可動バー
11 キャリアバー
12 アイドラーロッド
13 リダーロッド
14 リドラースピゴット
15 灰受け皿
16 ディープニングバー
17 フロントフェンス（低）
18 フロントアッシュシェディングプレート
19 ガラス
20 ガラスシール
21 ガラス止め金具
22 レンガ固定金具
23 止め金具
24 バッフルプレートセット
24a バッフルプレートハンガー
25 上部バッフルプレート
26 ドアハンドル（右）
27 ドアキャッチ
28 M12 スプリングワッシャー
29 タブ付ロッキングワッシャー
30 M12 ナット
31 ドアノブ（左）
32 ヒンジピンセット
33 ヒンジポスト
34 取り外しハンドル
35 ホルダー
36 エアコントロールガスケット
37 エアコントロールスライダープレート
38 サラウンドプレート
39 セレクションスライド
40 エアコントロールロアプレート
41 エアボックスガスケット
42 エアコントロールスライダー
43 クリッカーリテーナープレート
44 真鍮ボールキャッチ
45 コントロールロッド
46 エアコントロールノブ
47 フェルトワッシャー
48 エアボックスカバー
49 ダクトガスケット
50 ブランキングプレート
51 エアーインレットスピゴット
52 外気導入口止め
53 ドアアセンブリ（左）
54 ドアアセンブリ（右）
55 燃焼ボックス（オールニューアイランドⅡ）
56 ブランキングプレート
57 クランピングプレート
58 煙道カラー
59 煙道スペースリング
60 シリアルナンバーラベル
61 後方排気アダプター
62 灰運搬
63 ヒートシールド
64 短脚セット
65 長脚セット
66 ストアスタンド

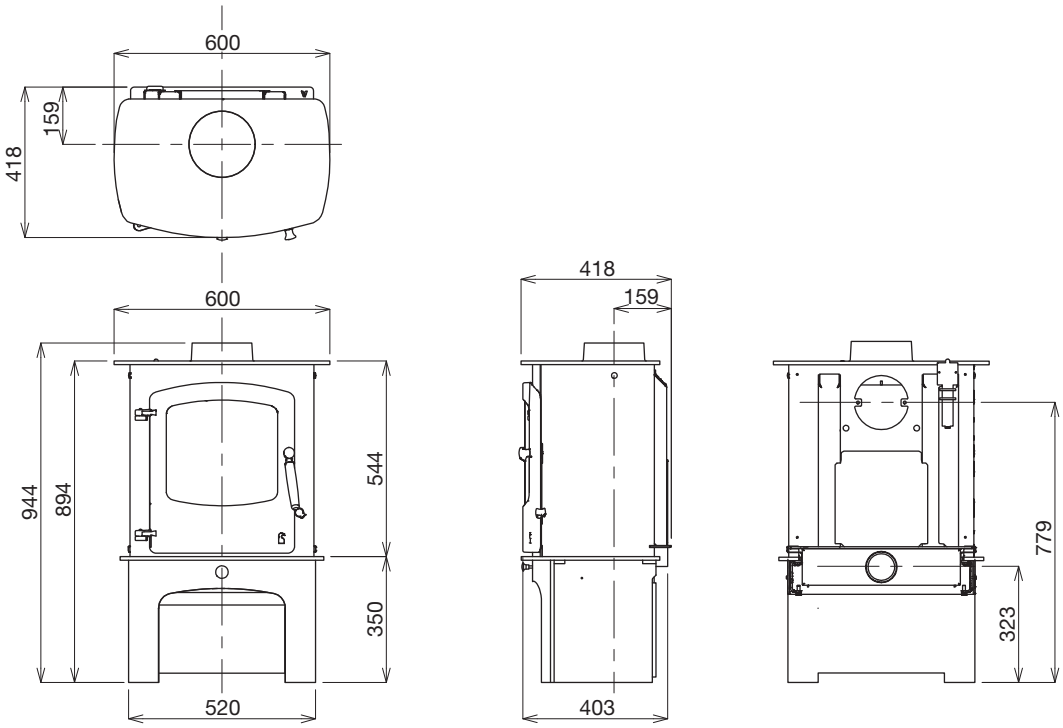
●アイランド Ⅲ ブルー（HI-BISL03HL-MB）寸法図分解図



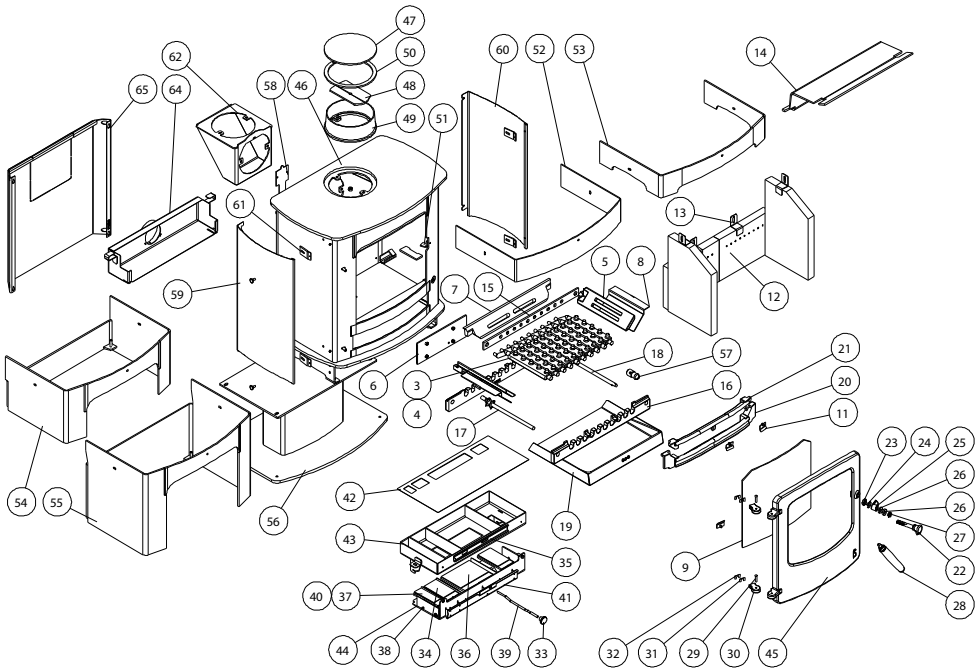
1 ドアシールセット
2 ドアシール
3 火床バー
4 火床バーセット
5 燃焼室横板（左）
6 燃焼室横板（右）
7 燃焼室後部板
8 ガラス
9 ガラスシール
10 ガラス止め金具
11 レンガ固定金具
12 止め金具
13 バッフルプレート
14 エアインレットフラップパッドセット
15 可動バー
16 キャリアバー
17 アイドラーロッド
18 リダーロッド
19 灰受け皿（左）
20 灰受け皿（右）
21 フロントバー
22 ディープニングバー
23 ドアハンドル（右）
24 ドアキャッチ
25 M12 スプリングワッシャー
26 タブ付ロッキングワッシャー
27 M12 ナット
28 ドアノブ（左）
29 ヒンジピンセット
30 ヒンジポスト
31 エアーコントロールノブ
32 灰受け皿取り出し用ハンドル
33 ホルダー
34 リドラーノブ
35 エアバイパススライド
36 一次空気取入板
37 二次空気取入板
38 エアバイパスフラップ
39 フラップ取付けロッド
40 エアコントロールロッド
41 アクチュエーターアッセンブリ
42 アッパークアトロボックスアッセンブリ
43 アッパークアトロボックス
44 ロアークアトロボックス
45 ドア（左）
46 ドア（右）
47 燃焼ボックス（アイランドⅢ ブルー）
48 ブランキングプレート
49 クランピングプレート
50 煙道カラー
51 煙道スペースリング
52 シリアルナンバーラベル
53 後方排気アダプター
54 灰運搬
55 煙削減キット
56 外気導入キット
57 湾曲パネル（左）
58 湾曲パネル（右）
59 パネル固定ブラケット
60 ヒートシールド
61 短脚セット
62 長脚セット
63 ストアスタンド

アド コーヴェシリーズ

●アド コーヴェ 2 ブルー（HI-BCOV2MK2SS-MB）寸法図



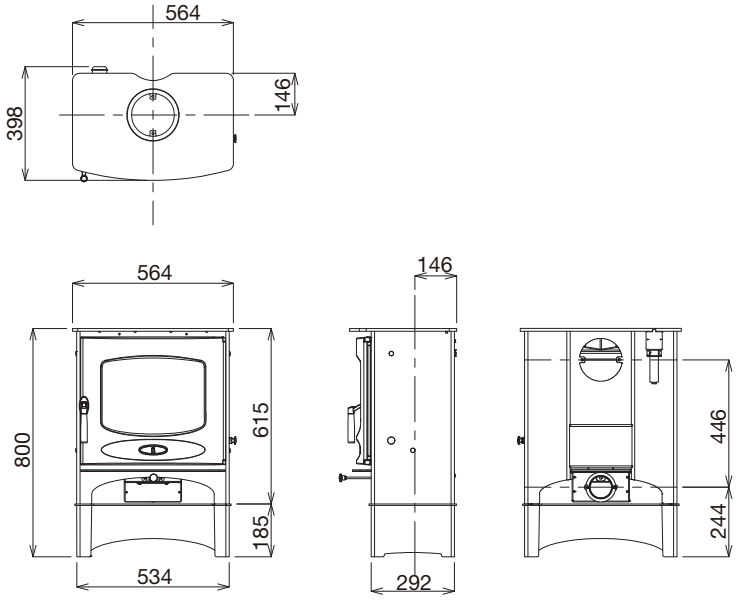
●アド コーヴェ 2 ブルー（HI-BCOV2MK2SS-MB）分解図



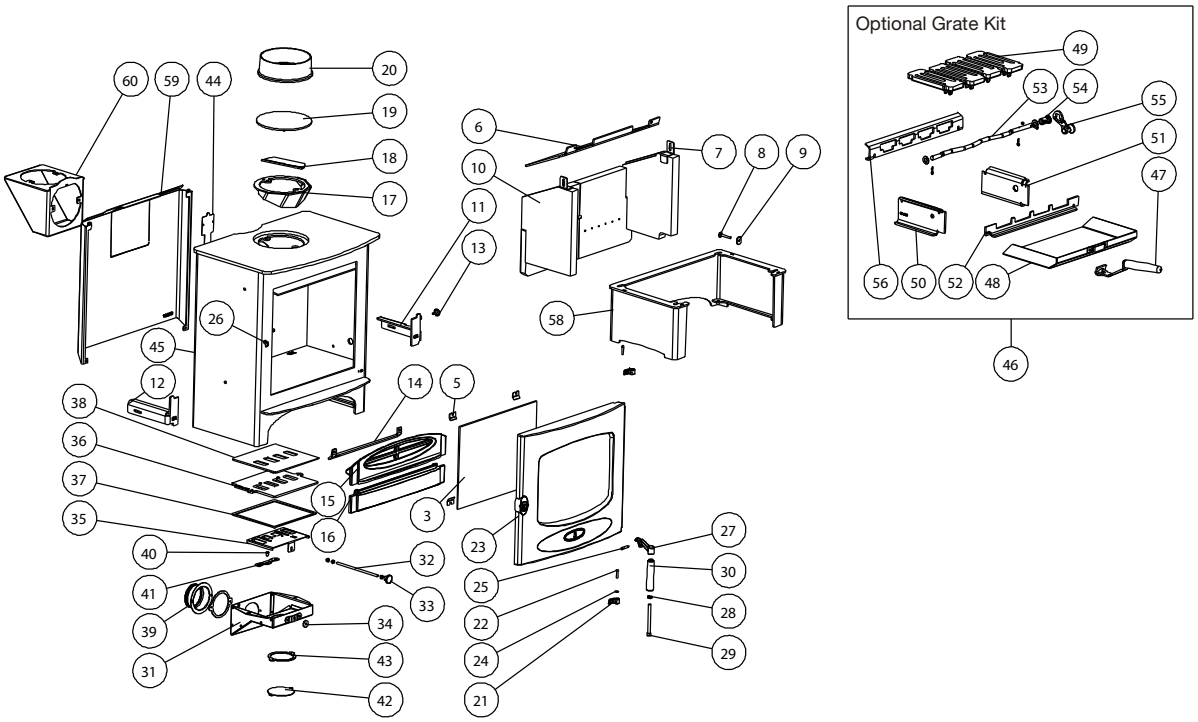
1 ドアシールセット
2 ドアシール
3 火床バー
4 火床バーセット
5 燃焼室横板
6 ブランキングプレート
7 燃焼室後部板
8 灰落としプレート
9 ガラス
10 ガラスシール
11 ガラス止め金具
12 レンガ固定金具
13 止め金具
14 バッフルプレート
15 可動バー
16 キャリアバー
17 アイドラーロッド
18 リダーロッド
19 灰受け皿
20 フロントバー
21 ディープニングバー
22 ドアスピンドル
23 M12 ナット
24 タブ付ロッキングワッシャー
25 ドアキャッチ
26 ドアキャッチスペーサー
27 M12 スプリングワッシャー
28 ハンドルレバー
29 ヒンジピンセット
30 ヒンジポスト
31 ヒンジポストシム 0.9mm
32 ヒンジポストシム 2mm
33 エアコントロールノブ
34 二次空気取入板
35 エアバイパススライド
36 一次空気取入板
37 エアバイパスフラップ
38 フラップ取付けロッド
39 エアコントロールロッド
40 エアインレットフラップパッドセット
41 アクチュエーターアッセンブリ
42 アッパークアトロボックスガスケット
43 アッパークアトロボックス
44 ロアークアトロボックス
45 ドア
46 燃焼ボックス（コーヴェ2 ブルー）
47 ブランキングプレート
48 クランピングプレート
49 煙道カラー
50 煙道スペースリング
51 ドアキャッチストップ
52 ロースタンド
53 ローアーチスタンド
54 ミッドスタンド
55 ストアスタンド
56 センタースタンド
57 リドラーノブ
58 シリアルナンバーラベル
59 湾曲パネル（左）
60 湾曲パネル（右）
61 パネル固定ブラケット
62 後方排気アダプター
63 灰運搬
64 外気導入キット
65 ヒートシールド

シーセブン ブルー

●**シーセブン ブルー**（HI-BCSEVENSS-MB）寸法図



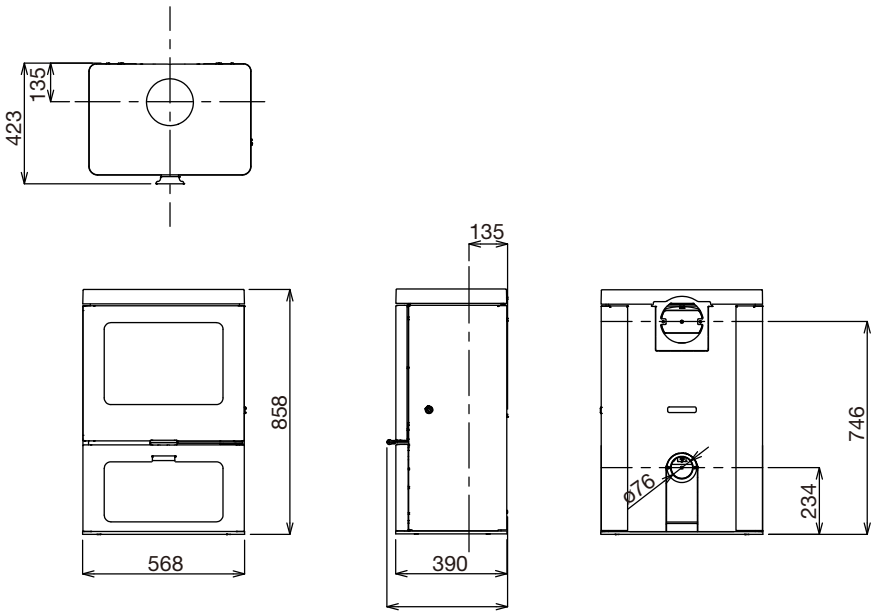
●シーセブン ブルー（HI-BCSEVENSS-MB）分解図



1　ドアシール（幅10mm）
1a　ドアシール（幅18mm）
2　ドアシール
3　ガラス
4　ガラスシール
5　ガラス止め金具
6　バッフルプレート
7　ブリック止め金具
8　コーチボルト M6×45
9　ブリックリテーニングワッシャー
10　ブリックセット
11　ブリックフェンスサポート（右）
12　ブリックフェンスサポート（左）
13　リドラーホールプラグ
14　アッシュデフレクター
15　転び止め
16　桟転び止め
17　煙道カラーデフレクター
17a 煙道固定ロープシール
18　クランピングプレート
19　ブランキングプレート
20　煙道カラー
21　ヒンジ
22　ヒンジピンセット
23　ドアアセンブリ
24　M6真鍮ワッシャー
25　ハンドルピポッドピン
26　ドアラッチ
27　ハンドルキャスティング
28　サッカリーワッシャー
29　ボルト M8×100
30　木製ドアハンドル
31　エアボックスカバー
32　コントロールロッド
33　エアコントロールノブ
34　フェルトワッシャー
35　エアインレットスライド
36　エアコントロールプレート
37　エアボックスガスケット
38　エアボックスガスケット（上部）
39　エアインレットスピゴット
40　真鍮ボールキャッチ
41　クリッカーリテーナープレート
42　カバープレート
43　ダクトガスケット
44　シリアルナンバーラベル
45　燃焼ボックス
46　火床セット
47　灰受けツール
48　灰受け皿
49　火床プレート
50　燃焼室横板（左）
51　燃焼室横板（右）
52　燃焼室正面板
53　リドラーロッド
54　リドラーノブ
55　リドラーツール
56　燃焼室後部板
57　灰運搬
58　ストアスタンド
59　ヒートシールド（オプション）
60　後方排気アダプター（オプション）

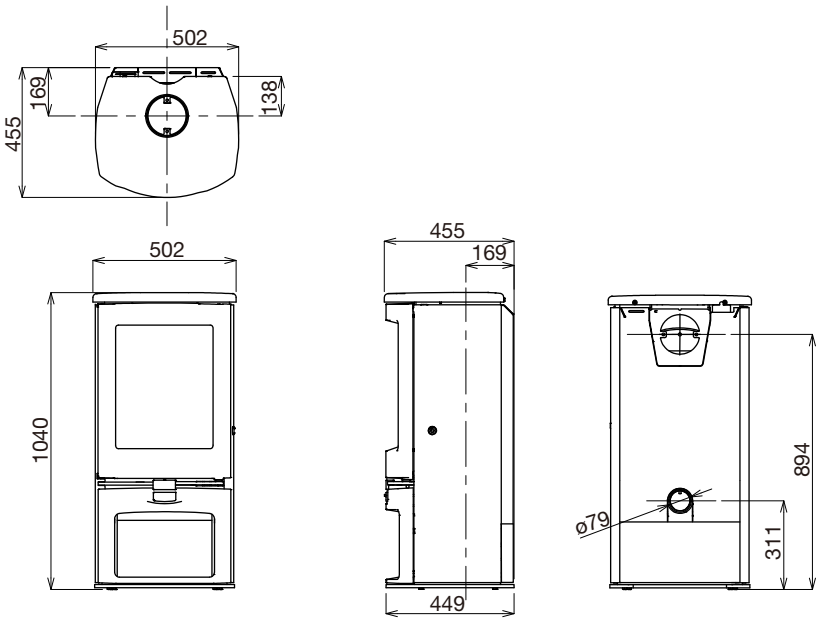
スカイ 7

●スカイ 7（HI-SKYE07SS-MB）寸法図

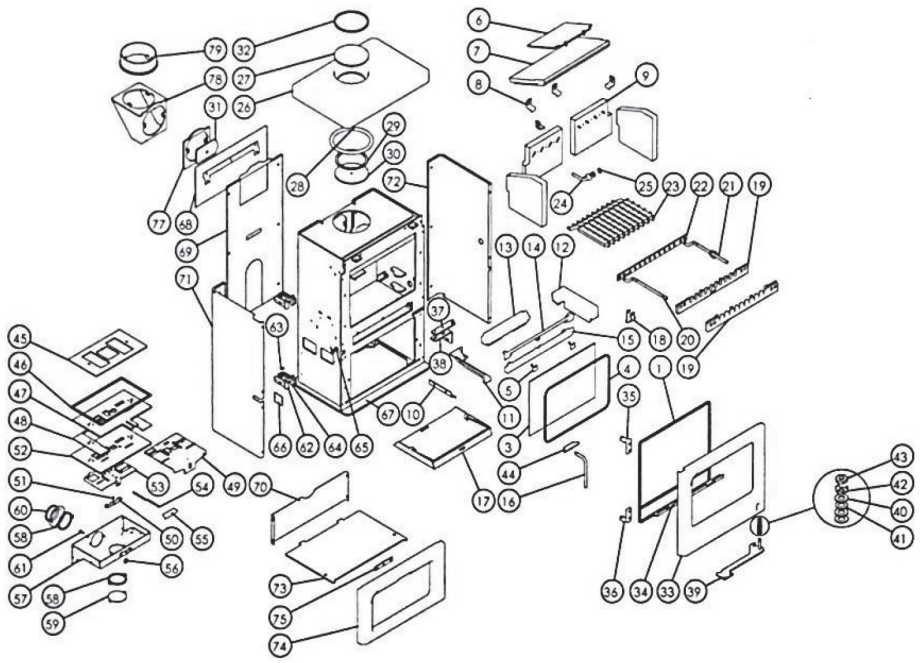


アーク 7

●アーク 7（HI-ARC07SS-MB）寸法図

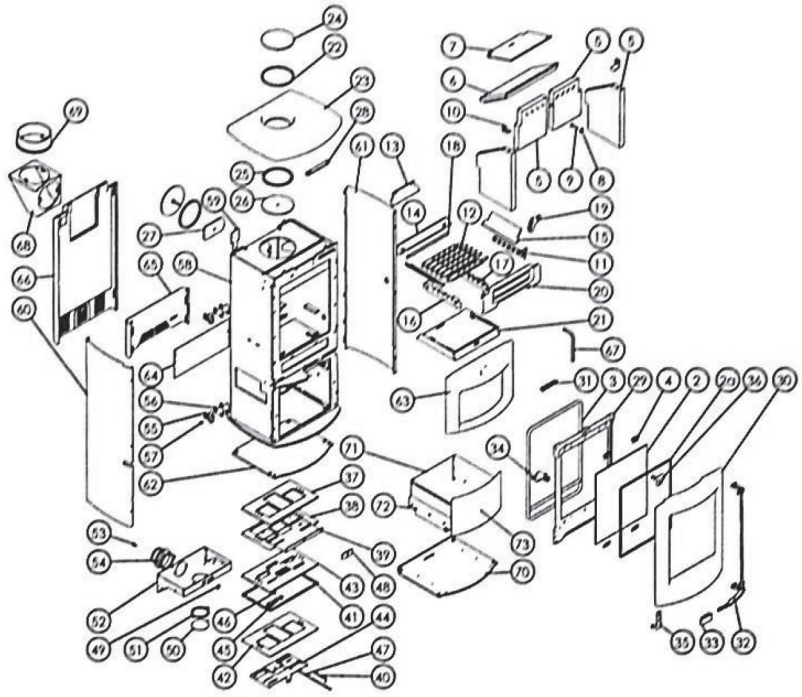


●スカイ 7（HI-SKYE07SS-MB）分解図



1　ドアシール
2　ドアシール
3　ガラス
4　ガラスシール
5　ガラス止め金具
6　上部バッフルプレート
7　ブリックバッフルプレート
8　ブリックブラケット
9　ブリックセット
10　火格子導流板
11　燃焼室横板（左）
12　燃焼室横板（右）
13　燃焼室後部板
14　ディープニングバー
15　フロントフェンス
16　取り外しハンドル
17　灰受け皿
18　キャリアバー止め金具
19　キャリアバー
20　アイドラーロッド
21　リダーロッド
22　可動バー
23　火床バーセット
24　リドラースピゴット
25　止め輪
26　キャストトップ
27　ブランキングプレート
28　ロープシール
29　ブランキングプレートシール
30　ブランキングプレートリテーナー
31　クランピングプレート
32　煙道トリムリング
33　ドアキャスティング
34　ロープシールチャンネル
35　上部ヒンジ
36　下部ヒンジ
37　ドアラッチ
38　ドアラッチブラケット
39　ドアキャッチアーム
40　真鍮ワッシャー
41　M10 波状ワッシャー
42　タブ付ロッキングワッシャー
43　M10 ハーフナット
44　ドアハンドル
45　エアコントロールガスケット
46　エアボックスガスケット
47　エアコントロールスライダープレート
48　アンダープレートスライダースペーサー
49　多燃料セレクションスライダー
50　クリッカーリテイナープレート
51　真鍮ボールキャッチ
52　エアコントロール下部プレート
53　エアコントロールスライダー
54　エアコントロールロッド
55　エアコントロールハンドル
56　フェルトワッシャー
57　エアボックスカバー
58　ダクトガスケット
59　ブランキングプレート
60　エアーインレットスピゴット
61　外気導入口止め
62　ドアヒンジ
63　M8 真鍮ワッシャー
64　ドアヒンジシム
65　スペーサー
66　シリアルナンバーラベル
67　燃焼ボックス
68　後方ヒートシールド
69　後方パネル
70　後方下部パネル
71　サイドパネル（左）
72　サイドパネル（右）
73　ベースプレート
74　フロント キャスティング
75　エアコントロールロッドガイド
76　アッシュキャリア（オプション）
77　後方排気アダプター用スペーサー
78　後方排気アダプター（オプション）
79　煙道カラー

●アーク 7（HI-ARC07SS-MB）分解図



1　ドアシール
2　ガラスシール
2a　ガラスシール
3　ドアロープ
4　ガラス止め金具
5　ブリックセット
6　ブリックバッフルプレート
7　上部バッフルプレート
8　ブリック止め金具ワッシャー
9　コーチボルト M6×45
10　ブリックブラケット
11　可動バー
12　火床バーセット
13　アッシュデフレクター
14　燃焼室後部板
15　燃焼室横板
16　灰除け棒（左）
17　灰除け棒（右）
18　アイドラーロッド
19　リドラーノブ
20　フロントフェンス
21　灰受け皿
22　排気口リング
23　キャストトップ
24　ブランキングプレート
25　粘着テープ
26　ブランキングプレートリテーナー
27　クランピングプレート
28　上部固定ブラケット
29　ドアバックプレート
30　ドアキャスティング
31　上部ラッチレシーブプレート
32　ロッドハンドルアセンブリ
33　ドアハンドル
34　下部ラッチレシーブプレート
35　下部ヒンジブラケット
36　上部ヒンジブラケット
37　エアコントロールスライダープレート
38　サラウンドプレート
39　スライダー
40　セレクションレバー
41　エアボックスガスケット
42　スライダーコントロールガスケット
43　エアースライダーコントロールプレート
44　エアーコントロールスライダー
45　クリッカーリテーナープレート
46　真鍮ボールキャッチ
47　コントロールロッド
48　エアコントロールハンドル
49　フェルトワッシャー
50　ブランキングプレート
51　ガスケットブランキングプレート
52　エアボックスカバー
53　外気導入口止め
54　エアインレットスピゴット
55　ドアヒンジ止め金具
56　ドアヒンジシム
57　M8真鍮ワッシャー
58　燃焼ボックス
59　シリアルナンバーラベル
60　サイドパネル（左）
61　サイドパネル（右）
62　スタンドベースプレート
63　ストアスタンド
64　スタンドバックプレート
65　下部ヒートシールド
66　上部ヒートシールド
67　取り外しハンドル
68　後方排気アダプター（オプション）
69　煙道カラー
70　引き出しスタンドベースプレート（オプション）
71　引き出し（オプション）
72　引き出しランナーサポート（オプション）
73　引き出し正面プレート（オプション）
74　灰運搬（オプション）

6　エコール・薪について

薪の基礎知識

薪となる木は広葉樹と針葉樹とに分けることが出来ます。広葉樹は密度が高く、火もちが良いことから、広く使用されています。針葉樹は広葉樹と比べると密度が低く、樹脂や精油成分が多く含まれているためカロリーが高いので着火性が良く、焚きつけに優れています。しかし、火持ちが良くありません。また、煙突にタールが溜まりやすく掃除が大変です。

広葉樹

長時間ゆっくりと燃やす薪

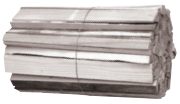
ナラ
手に入り易く、とても火持ちが良い。

サクラ
ほど良い薫りで火持ちも良い。

その他の広葉樹
リンゴ．ブナ．カシ．シラカバ

針葉樹

焚き付け用：着火の際に使用します。



スギ・ヒノキ
燃えやすく、着火に適しています。

その他の針葉樹
モミ．アカマツ．カラマツ

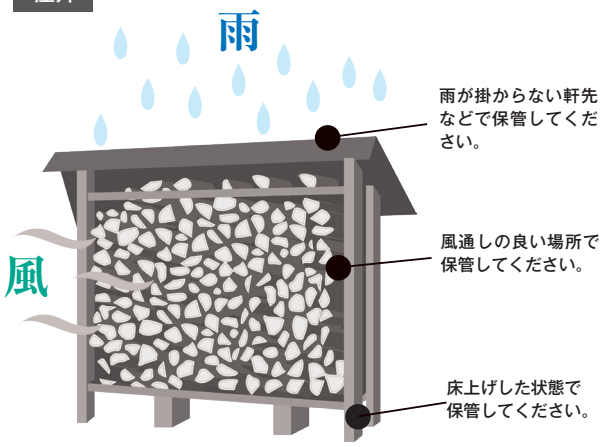
一般的に薪のサイズは36～40㎝。一束は7～8kgです。

薪を入手するには

- 地元の森林組合に問い合わせて購入する。
- 果樹園で伐採された木を交渉し、譲ってもらう。
- 山林地主に間伐材を交渉し、譲ってもらう。
- 新築工事があれば、大工さんにかけあい、端材を譲ってもらう。

薪の保存方法

屋外



購入する薪は、すくなくとも1年以上乾燥させたものをおすすめします。
薪の**含水率20%以下**のものをご使用ください。

屋内

室内に薪置きを設置し、1～2日分をストックしておきます。

注意

乾燥していない薪は使用しないでください。薪ストーブの性能を十分に引き出す事ができず、ストーブが暖まりにくく、クレオソートが多く発生し、煙突内に付着してしまい、「煙道火災」の原因となります。

また、腐ったり、化学処理された木は使用しないでください。薪ストーブ及び煙突をいためる原因となります。

エコールについて

エコールとはオリーブオイル製造時の絞りきった実を乾燥させて石炭と混ぜ合わせたチャーンウッド社専用人口石炭です。
イギリスチャーンウッド社薪ストーブは、本国では石炭を燃やせるほど丈夫なストーブです。（石炭は薪よりも高温になります。）
※チャーンウッド社 専用の為、使用できる薪ストーブは、オール ニュー アイランド Ⅰ、オール ニュー アイランド Ⅱ、スカイ セブン、アーク セブンに限ります。
※火床を石炭モードにしてご使用ください。

エコールの正しい使い方

薪が熾（おき）火になる

エコールを15個ほど入れる

空気を調整しレバーを2cm程度引く
＊火の状況に応じて空気調整は変わります。

原材料：石炭70%
オリーブ30%

エコールと薪の比較

薪より6倍も長持ち

Good Point!

薪一束6kg→約3時間燃焼
エコール6kg→約18時間燃焼

煙が少ないので近隣への心配無く使える

Good Point!

都内で薪ストーブや暖炉を使用する事は全く問題ないのですが、煙突からの煙がご近所様への迷惑だと諦める方も多いのではないでしょうか？ エコールを使用すると、無煙なのでご家族と共に安心して薪ストーブを楽しむ事ができます。

熾（おき）火が長持ち着火がラクラク

Good Point!

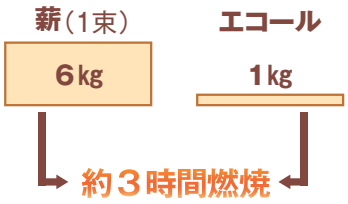
エコールは、一度燃焼すると長時間その炎が熾火となります。夜は熾火の暖かさで眠り、朝は熾火に薪を焼べ一気に部屋を暖める事ができます。

薪の約1/3の価格です!

エコール販売価格
1,980円/袋（10キロ）…60円/h

薪販売価格
500円/袋（6キロ）…166円/h

薪とエコールを併用すれば、月々の燃料費は安く済みます。



アドヴァンダイレクト≪ネット通販≫から、24時間ご注文をいただけます。

http://www.advan.co.jp

7　薪の着火と燃焼

新しいストーブは慣らし運転が必要です。急激な温度変化を受けると破損する場合があります。そのために、必ず慣らし運転を行い、鋳物を徐々に熱になれさせる必要があります。耐久性は、慣らし運転をしなければ大きく変化します。これから示す手順を3～4回繰り返し行ってください。また、ストーブ温度計（オプション）は、口元付近に取り付け本体の温度管理を行ってください。

着火前の用意

● グローブ

● ファイヤーツール

● 温度計

● 着火材

● 太い薪　● 中薪

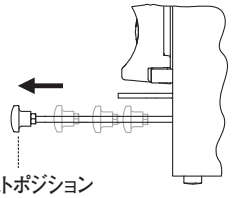
● 細い薪

※十分に乾燥した薪をご使用ください。

慣らし焚き

乾燥した薪を使用し、ストーブの燃焼システムを良く理解することで、薪を焚く技術は簡単に身につけることができます。

1 エアーコントロールレバーを一番手前まで引きます。



2 正面ドアを開け、良く乾いた薪を手前と奥へ2本置きます。

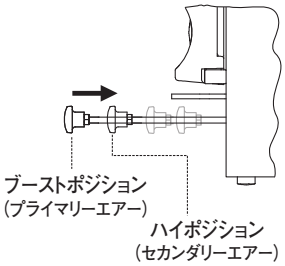
3 中央に着火材または新聞紙を置きます。

4 着火材の上に6～8本の細い薪を組みます。
着火材または新聞紙の上に焚付を置きます。

5 マッチ及びライターで着火材または新聞紙に火をつけてください。
薪に着火したことを確認し、フロントドアを閉めます。

6 10～15分ほどすれば、燃焼が安定してきます。
それから、太い薪を2～3本足します。
ストーブ本体を冷ますため、そのまま燃え尽きるまで放置します。
1～6の手順を3～4回繰り返し行ってください。

※慣らし焚きの際は、ストーブ温度計が200℃以上にならないように、エアーコントロールレバーで給気を調節してください。



注意

- 使いはじめの数回は、ストーブ本体や煙突から臭いと煙が発生します。窓を開けるなど、お部屋の空気を十分に換気してください。

煙が逆流する、うまく燃えない時は

煙が逆流する、うまく燃えないのは、煙突が冷えているからです。煙突が冷えているとドラフト（上昇気流）が発生しにくくなってしまいます。

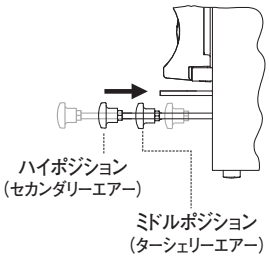
そんなときはバッフルプレートの手前に火をかざすことで煙突が暖まり、ドラフトが発生しやすくなります。

通常運転

「慣らし焚き」をした後、
「慣らし焚き」の1～6の手順で着火を行います。

7 真っ赤な熾火が炉床全体にできるまで、2本ほど薪を補給します。30分ほどで勢い良く燃えるようになります。

8 その後、天板の口元付近の温度が250℃に達したらエアーコントロールレバーを絞ります。
（ハイポジション→ミドルポジション）

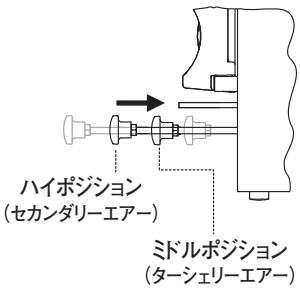


薪の補給

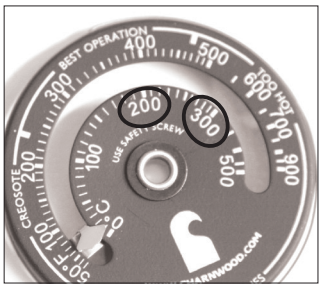
1 正面ドアを開け、
ファイヤーツールで熾火を均一に広げます。

2 太い薪を足しドアを閉めてください。（細い薪を足してから太い薪を足すと、素早く着火します。）

3 エアーコントロールレバーで火力を調節します。
（ハイポジション→ミドルポジション）



4 最適温は天板の口元付近の温度が200℃～250℃です。300℃以上継続して使用するとストーブ本体の破損の原因になります。



消火

薪ストーブは、瞬時に消火する事ができません。全ての薪が燃えきったときが消火となります。
消火させるには、エアーコントロールレバーを絞り給気を遮断してください。ゆっくりと燃え尽き、消火します。

注意

水をかけての消火は危険ですのでお止めください。ストーブが急激に冷却され、破損の原因なります。

灰の処理

ハンドルをレバーへ差し、上下して灰を灰受けトレーで落とします。

ハンドルレバーを使い、灰受トレーを引き出してください。

灰は、 灰受け皿が一杯になる前に捨ててください。灰受けは付属のハンドルを使って引き出す事ができます。

注意

灰を捨てる際は十分に灰が冷えた時に行ってください。

取り出した灰は、しばらく何日か不燃性の容器に入れ、可燃物との距離を十分に確保し、 屋外で保管してください。

8　エアーコントロールと温度計について

エアーコントロールの調整具合は、絶対とは限りません。お客様のストーブ設置状態や設置場所、煙突の長さや薪の質によって異なってきます。使いはじめの際、どのように調節したかを記録しておくことをおすすめ致します。1～2週間もすれば様々な状況で最適なセッティングが出来るようになるでしょう。ストーブを長年愛する為に、温度計は大事な役割を果たします。温度計について正しく理解してください。

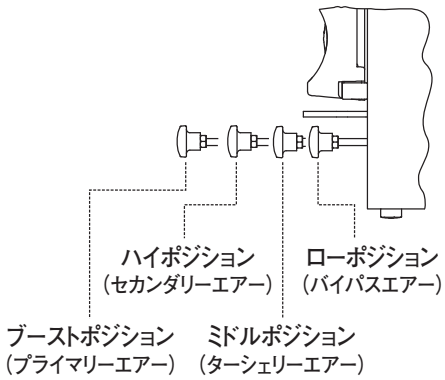
ストーブ温度計について

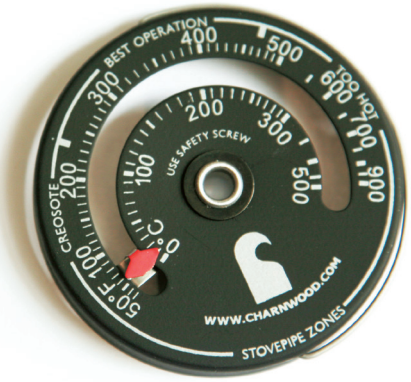
ストーブ温度計は、ストーブ本来の温度を管理するものです。天板の口元付近で200℃～250℃が最適な運転温度となります。300℃以上で使用し続けますと、本体の破損の原因となります。温度が上がりすぎた場合には、薪の補給を止め、エアーコントロールレバーを絞ってください。温度が一時的に超えることもありますが、問題ありません。

エアーコントロールのセッティング

空気の調節はレバー1本で出来ます。 エアーコントロールレバーを手前に引くと空気量が増し、 レバーを押すと空気量が減り、燃焼スピードは遅くなります。このユニークな4段階燃焼システムは1次燃焼エアーと2次燃焼エアー、3次燃焼エアー、 そしてバイパスエアーと1つのレバーで空気量を最適にコントロールできます。 今までのような多くのレバー調節は必要ありません。

エアーコントロールポジション





□別売り

温度計
（チャーンウッド社製）

HIYH03

9 ドラフト管理

クレオソート

クレオソートは、特に湿った薪がゆっくり燃焼した時に生じます。ドラフトが弱く、煙の濃度が高い、または、煙が149℃以下になると煙突内に蓄積される有機タールです。蓄積されるクレオソートは揮発性なため、一定の温度以上に加熱されると、煙道火災を引き起こす原因となります。
クレオソートの蓄積量は煙突のドラフトを左右します。最適な煙突のレイアウト、最適な薪の使用、ストーブの適切な運転動作でドラフトを高め、クレオソートの発生を最小限に抑える使い方をしてください。

燃料

ストーブが最適な方法で設置されていても、燃料の質が悪いと効果が出ません。最適な燃料は、12～18ヶ月間乾燥させた広葉樹です。広葉樹が理想的ですが、針葉樹でも問題ありません。しかし、針葉樹は広葉樹と比べると火持ちがよくありません。また、クレオソートの原因となる樹脂を多く含んでいます。

乾燥させていない生木は、水分を多くふくんでいるため、燃やしたとしても熱量が水分を蒸発させるために使われてしまいます。その結果、暖房効果が得られず、排煙温度の上昇が見込めず、クレオソート発生につながります。
水分の量は、見た目や重さからも判断できますが、市販の含水計を使用することで正確に計る事ができます。
乾燥していない薪の重量は、乾燥している薪の3倍です。また、水分量は薪の切り口を観察することで判断できます。乾燥している薪は伸縮し、ひび割れが出てきます。ひびの入った薪ほど、乾燥してるということになります。

バックパフィング（空気の逆流）

バックパフィングとは、ドラフトが弱く燃焼速度に合わせて煙を排出できないときにおこる現象です。炉内で発生した煙の濃度・温度が一定の値に達した時に点火され、煙が空気取り込み口より出てきます。
バックパフィングは弱火で燃焼させるような春先に起こります。バックパフィングが起きた場合には、エアーコントロールを全開にし、空気をたくさん取り込み、勢いよく燃えるようにしてください。また、低燃焼時に沢山の薪を投入すると未燃焼ガスが多く発生しバックパフィングが起こります。

負圧

最適なドラフトを生む為には、ストーブへの十分な給気が必要となります。煙突は、自然に得られる空気だけを引き込む事ができます。室内の空気を屋外に排出させる排気設備機器（レンジフード、衣類乾燥機、機械換気設備など）がストーブと空気を取り合う場合や、住宅の気密性が高く、ストーブの給気が妨げられる場合、ドラフトの障害となります。
窓やドアを開けなければ十分な空気を得られない場合、壁や床に燃焼用空気を取り込む給気口を設ける必要があります。

ドラフト管理

ストーブで薪を燃やすということは、非常にシンプルな事です。空気の量が多ければよく燃え、少なくすれば火は小さくなります。
焚き始めの空気量と、安定した空気量さえわかれば、より快適なストーブライフを送る事が出来るでしょう。

薪ストーブの機能は自然のドラフト（上昇気流）に左右されます。ドラフトは煙突のトップの外気温より、煙の温度が高い時に発生します。その温度差が大きいほどドラフトは強くなります。高い温度の煙が排気されることで、燃焼用の空気をストーブに引き込む吸引力が生じます。エアーコントロールによって取り込む空気の量は調整出来ますが、ドラフトの力がなければ、ストーブに空気を送り込むことはできません。

エアーコントロールを全開にした状態にも関わらず、燃焼速度が遅い場合はドラフトが弱い証拠です。煙突の種類や設置場所、外気温などによって煙突は早く暖まる場合もあれば、正常なドラフトが得られる速度に達するまで時間がかかる場合もあります。

煙突設置状態により、強力なドラフトを発生させられるか、最適な温度を長時間維持できるかによって、薪ストーブの効率に大きな影響を与えます。煙突の種類によってストーブ性能に与える影響についてご紹介します。

ステンレス製の煙突

工場生産されているステンレス製の煙突の多くは、断熱効果のある断熱材の層があります。断熱材の層により、煙を保温しているので、熱が伝わりにくくなっています。そのため、周囲の構造物を熱から守ります。ステンレス製の煙突は、レンガ・石造りの煙突に比べ熱伝達が早く、ドラフトが十分に発揮できますので、ステンレス煙突のほうが耐久性・性能共に高いです。また、外観をレンガ・石作り風に仕上げることもできます。

レンガ・石造りの煙突

レンガ・石造りの煙突は、伝統的な煙突ですが、気密性の高い近代的な薪ストーブを使う場合、効果はあまり期待出来ません。石やレンガは性質上長時間燃やしていると、大量の熱を吸収・蓄熱します。しかし、熱の落ち込みも早く強いドラフトを発生させるには相当の時間と熱量が必要となります。

煙突のサイズ

ストーブの排気口と、煙突のサイズは同じでなくてはなりません。煙突のサイズがストーブの排気口より小さくなると排気ガスは希薄され、温度が下がり、ドラフトも弱まります。ドラフトを発生させるための熱量は、煙突の直径が大きくなるほど多く必要になり、暖まるまでに時間がかかり、暖まった熱量が少しずつ消耗されてしまいます。煙の逆流などを防ぎ、ストーブ本来の性能を発揮させるため、ストーブの排気口と合った煙突をご使用ください。

煙突の設置場所

煙突は、住宅内部を立ち上げるのがベストです。煙突の性能は排気温度が高い状態のまま排出することです。この方法は、外気の影響を受ける事無く、煙突からの放射熱でお部屋を暖めます。屋外に逃げる熱が少ないということは、ストーブの熱のロスが少なくてすみ、燃費を抑えることができます。

煙突のレイアウト

煙は煙突のトップまで上昇する時に、ストーブから煙突のトップとの間に曲がりがあるたびに速度が落ちます。ストーブから垂直にまっすぐ伸ばす方法が、理想的な煙突のレイアウトです。室内のシングル煙突を使用する長さは、ストーブ口元から2.5mまでとします。これより長い場合、煙が冷却され、ドラフトが弱まりクレオソートが発生する原因となります。

10 メンテナンス【スケジュール】

ストーブ本体及び煙突を末永くお使いいただくためには、定期的にメンテナンスをすることが必要となります。
下記スケジュールを参考にしてメンテナンスを行っていくことをおすすめします。
また、メンテナンスの項目の中には、ストーブ販売店に依頼する内容も含まれております。
販売店名が記入されている保証書を大切に保管してください。

シーズン中のお手入れ		
点検項目	要領	方法
ドアガラスの清掃	煤・タールの除去・破損の有無	P.37参照
灰受け皿	溜まった灰の処理	P.31参照

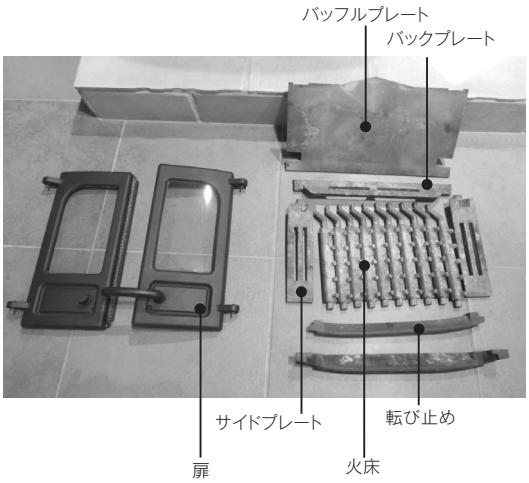
シーズン終了後または前のお手入れ		
点検項目	要領	方法
煙突の点検	煙突内部の煤・タールの除去	P.39参照
炉内の掃除と点検	灰・タール・煤の除去	P.36参照
内部ガスケットの点検	劣化・剥がれの点検・交換	P.38参照
ドア調整	密閉具合の点検・調整	P.38参照

シーズンオフ
春　ストーブ炉内に灰を残しておくと湿気が溜まり、サビの原因となるので全て取り除く。
夏　バイパスダンパー及びエアーコントロールを全開にし、煙突内の空気を常に対流させておく。
秋　上記シーズン前のお手入れ
冬　シーズン中のお手入れ

※ご使用状態により、メンテナンス費用が異なりますので金額を確認してから、ご依頼ください。
※上記は取扱説明書に従った適正な使用状態での標準メンテナンス・スケジュールとなります。
　よって、お客様のご使用状態によってはメンテナンス時期が異なるケースもあります。
　上記スケジュールを参考にして、ご自身でスケジュール管理を行ってください。

11 メンテナンス【本体の掃除とお手入れ】

本体のバラしかた



1 扉を外します。

2 転び止めを外します。

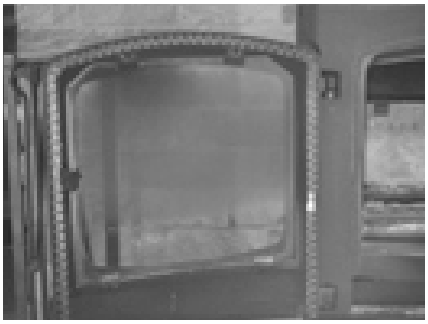
3 サイドプレート、バックプレート、火床を外します。

4 バッフルプレートを外します。

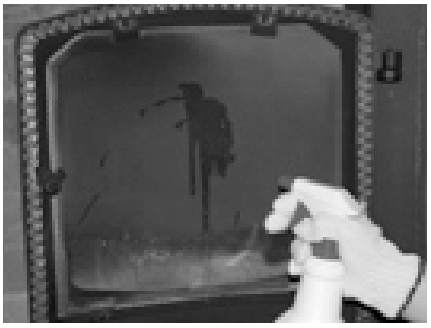
5 掃除機またはハケ・ブラシで灰を落としてください。

ガラスのクリーニング

1 薪ストーブが十分に冷えていること・燃焼中の薪が無い事を確認します。



2 ガラスクリーナーを使って汚れを落とします。内側のガラスにクリーナーを適量つけます。



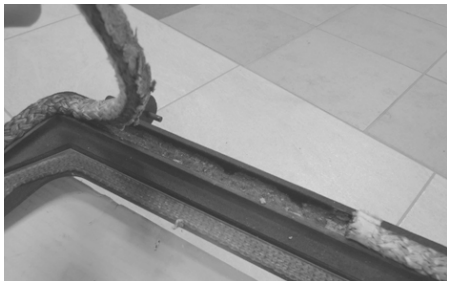
3 クリーナーを乾いた布などでよく拭き取ってください。

ガスケットの点検と交換

1 扉とボディの間へお札などの紙を挟んで扉を閉めます。 お札が挟まらず抜けるようでしたらガスケットロープが硬くなっており気密性が落ちる原因ですので交換をしてください。

ドアノブのボルトのゆるみを確認→増締

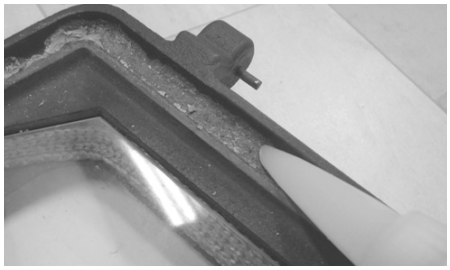
2 古いガスケットロープを取り外します。



3 こびりついて残っているシリコンは、ドライバーなどの先を当て、削ぎ落としてください。

4 溝をワイヤーブラシできれいにし、ハケなどで取り除いてください。

5 別売りの耐熱ボンドを溝へ充填します。



6 塗り終わったらガスケットを引っ張らずに置くように貼付けます。最後は、はみ出さないようにハサミなどで切って締めてください。

コーベシリーズのハンドルについて

7 燃焼中はハンドルを扉から外してご使用ください。（コゲ、破損の原因になります。）

12 メンテナンス【煙突の掃除とお手入れ】

本体の手入れよりも大切なのが、煙突掃除です。煙突にタールや煤が溜まっていると、煙道火災の危険性が高まります。最低でも、年に一度は煙突掃除を行うことをおすすめします。
また、高所での作業は危険を伴います。無理と判断した場合、お買い上げ頂いた販売店へご依頼ください。

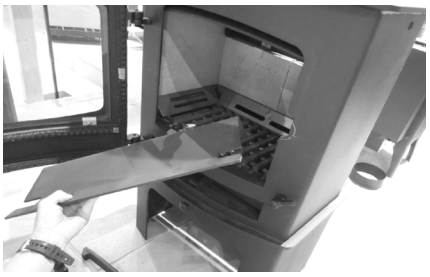
掃除・お手入れの準備

ヘルメットやロープなどはお近くのホームセンターなどでご用意ください。煙突ブラシなどの煙突掃除用アイテムは、専門店でご購入できます。

- 煙突用ブラシΦ150mm
- 煙突用ブラシ用延長棒
- ハンドブラシ
- ロープ
- ヘルメット
- ゴーグル
- ブルーシート
- 大きいビニール袋

●バッフルプレートを外して煙突掃除

チャーンウッドはバッフルプレートを取り外すだけで煙突掃除が出来ます。



●煙突トップから行う場合

煙突をトップからはずす

1

煙突とトップをつなぐロッキングバンドを外します。

2

ロックがかかっているため、回転させてからトップを外します。

注意

タールや煤が付着して外しにくい場合があります。トップを叩き、それでも外れない場合は、潤骨油を吹きかけてください。

12 メンテナンス【煙突の掃除とお手入れ】

ブラシで掃除する

1 煙突径に適応したブラシをご用意ください。

2

ブラシを差し込み、上下させながらブラッシングします。徐々に下方へ押し入れます。
必要に応じてロッドを継ぎ足してください。

●室内から行う場合

屋内の煙突を外す

1

煙突とストーブ本体を接続しているビスを外します。
煙突を持ち上げると外れます。外した煙突は屋外へ運び出してください。

2

シングル煙突から二重断熱煙突に変わる接続（アダプター）を外すため、ロッキングバンドを外します。

3

回転させてロックを解除し、アダプターを外します。

4

大きいビニール袋にロッドを通し、袋の中でブラシを取り付けてください。

5

ブラシを差し込み、上下させながらブラッシングしてください。徐々に上方へ押し入れます。

6

ロッドを必要に応じて継ぎ足してください。

13 トラブルシューティング

トラブル	原因	対処法
薪が燃えない	薪が湿っていませんか?	十分に乾燥した薪を使用してください。薪については、26ページをご参照ください。
	太い薪のみ使用していませんか?	焚き始めは細い薪に着火し、徐々に太い薪をくべてください。薪の着火と燃焼については28ページをご参照ください。
	燃焼用空気を絞っていませんか?	エアーコントロールレバーを全開にしてください。
	煙突が詰まっていませんか?	煙突掃除を行ってください。 煙道火災を防ぐ為にも定期的な点検及び、メンテナンスが必要です。また、低温度域で使用した場合や不十分に乾燥されていない薪を燃やした場合、 ヤニが多く燃え残り、煙突に付着してしまうことがあります。
	換気扇を使用していませんか?	薪ストーブを焚く際、換気扇を使用していると、煙突内の上昇気流力が弱まり、 燃えにくい場合があります。 換気扇の使用を止めるか、窓を少し開けてください。
薪が早く燃えてしまう	着火用のブーストポジション(プライマリーエアー)のまま焚いていませんか?	天板口元付近のストーブ温度計の温度が200℃~250℃に達していることを確認し、 エアーコントロールレバーを調節してください。 ※アイランドシリーズ、 コーヴェシリーズにはバイパスエアーシステムの機能があり、 たとえエアーコントロールが閉められていても、 バイパスエアーによって少量のエアーがストーブに入り、 とろ火でも排気をクリーンに保つことが可能です。
	ドアを開けたまま焚いていませんか?	ドアを開けたまま燃焼させると、 空気を大量に取り込み、 薪が早く燃えてしまいます。 フロントドアが閉まっていることを確認の上、ご使用ください。
	ドアパッキン(ガスケット)が消耗していませんか?	ガスケットを交換してください。 ガスケットが消耗していると、隙間から空気を取り込み、薪が早く燃えてしまいます。

トラブル	原因	対処法
煙が逆流する	煙突が詰まっていませんか?	煙突掃除を行ってください。煙道火災を防ぐ為にも定期的な点検及び、メンテナンスが必要です。
	換気扇を使用していませんか?	薪ストーブを焚く際、換気扇を使用していると、煙突内の上昇気流力が弱まり、燃えにくい場合があります。換気扇の使用を止めるか、窓を少し開けてください。
	煙突トップ付近で強風が吹いていませんか?	強風が吹くことで煙が逆流する場合があります。
	曲がりが多い･横引きが長い煙突設置ではありませんか?	煙突は、曲がりの数が多い場合や横引きが長い場合、上昇気流の障害となります。その結果、煙突が冷えやすく、煤やタールが溜まりやすくなります。煙突をしっかり暖めて、上昇気流を強くしてください。
	煙突は短すぎませんか?	煙突の高さが4m未満の場合、上昇気流が弱く、室内に煙が逆流してしまうことがあります。
温度が上がらない	薪が湿っていませんか?	十分に乾燥した薪を使用してください。薪については、26ページをご参照ください。
	薪の量が少なすぎませんか?	長時間燃やす為の太い薪（直径10cm以上）を3本以上入れて様子を見てください。また、本体が暖かいのにお部屋が一向に暖まらない場合は、お部屋に対してのストーブ容量が不足していると考えられます。
	燃焼用空気を絞っていませんか?	エアーコントロールレバーを全開にしてください。

トラブル	原因	対処法
ガラスがひどく曇る	薪が湿っていませんか?	十分に乾燥した薪を使用してください。薪については、18ページをご参照ください。
	空気調整レバーを絞るタイミングが早くないですか?	低温状態で空気を絞ると、不完全燃焼となり、煤やタールが発生しやすくなります。
	バイパスダンパーを閉めるタイミングが早くありませんか?	ストーブ温度計の温度が200℃に達していることを確認し、エアーコントロールレバーを調節してください。
	煙突が詰まっていませんか?	煙突掃除を行ってください。煙道火災を防ぐ為にも定期的な点検及び、メンテナンスが必要です。
	フロントドアが少し開いていませんか?	フロントドアをきちんと閉めてください。
煙突が早く詰まってしまう	乾燥した薪を使用していますか?	しっかり乾燥した薪を使用してください。入手が困難な場合は細かく割ってご使用ください。
	焚く温度が低すぎませんか?	低温度域で使用すると、不完全燃焼となり、煤やタールが発生しやすくなります。ストーブを焚く場合は、ストーブ温度計200℃以上でご使用ください。
	曲がりが多い･横引きが長い煙突設置ではありませんか?	煙突は、曲がりの数が多い場合や横引きが長いお上昇気流の障害となります。その結果、煙突が冷えやすく、煤やタールが溜まりやすくなります。煙突をしっかり暖めて、上昇気流を強くしてください。

14 保証とアフターサービス

修理を依頼される前に

まず初めにトラブルシューティングで確認してください。トラブルシューティングに無い異常や破損がある時は、ご使用をやめ、施工された工事店もしくはアドヴァンまでご相談ください。

修理に関するご相談について

故障・修理あるいは部品のお取り替えに関するご相談、ならびにご不明な点は、施工された工事店もしくはアドヴァンまでご相談ください。

株式会社アドヴァン 開発部 技術課
e-mail　tech02@advan.co.jp

サポート情報
https://www.advan.co.jp/eshop/sekou-manual/

よくある質問や一般的な施工方法、商品のサポート情報を掲載しております。

保証書について

保証書は、取扱説明書に同封してあります。
販売店名の記入をご確認いただき、お客様情報を記入してください。保証書は内容をよくお読みになった後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、保証書に記載されている期間となります。この期間中、取扱説明書の指示に従った正常な使用状況で問題が発生した場合は、保証書の規定に従って修理致します。保証期間が過ぎている場合は修理できる範囲内で有料にて修理致します。施工された工事店もしくはアドヴァンまでご相談ください。

保　証　書

製品名	（いずれかをチェックしてください） ☐ オール ニュー アイランド Ⅰ（HI-ISL01HLAP-MB） ☐ オール ニュー アイランド Ⅱ（HI-ISL02HLBP-MB） ☐ アイランド Ⅲ ブルー（HI-BISL03HL-MB） ☐ アド コーヴェ 2 ブルー（HI-BCOV2MK2SS-MB） ☐ シーセブン ブルー（HI-BCSEVENSS-MB） ☐ スカイ セブン（HI-SKYE07SS-MB） ☐ アークセブン（HI-ARC07SS-MB）
保証期間	保証期間 2 年

お客様名	
ご住所	〒　　- お電話番号

取り扱い支店（販売店）名	印

＊この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

東証一部上場
ADVAN
株式会社 **アドヴァン**
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 4-32-14